令和5年度

COMPASS 発達支援センター姫路

討議日：令和５年 12 月 28 日
公表日：令和６年　２月 26 日

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	8		整理整頓を常に心がけて適切な活動スペースの確保に努めています。 また、当日の利用児童に合わせて臨機応変に空間の設定を変えるなどの対応ができるように日々の朝礼で話し合っています。	今後も、適切なスペースの確保と環境整備に努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切である	8		基準配置を上回る職員数を保っています。 利用児童の一人ひとりにしっかり関わることのできる体制を心がけ個々の成長に応じてマンツーマンでの療育も行っております。	今後も、適切な人員を配置・確保して運営して まいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		8	玄関や出入口等に段差はございますが、低いものとなっております。 段差を通過する際には職員が見守り、声掛けに努めております。 また、敷居や段差に配慮が必要な児童は現時点での利用はございません。	今後も、利用児童一人ひとりの特性に応じた環境づくり・配慮をしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		毎日、サービス提供時間前に職員全体で集まり、利用児童の支援について話す時間を設けています。 また、定期的に会議を行い、評価や課題分析・日々の振り返りや業務改善についても話し合い、共通理解に努めています。	今後も同様に、PDCA サイクルによる業務改善に職員全体で努めてまいります。
	5	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		アンケートを配布し、ご意見ご意向を把握することにより、改善につなげています。	今後も、常時保護者様からのご意見をいただき、把握したうえで業務改善につなげていきたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や公式 Web サイト等で公開している	8		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		新型コロナ感染予防の為、現在、外部研修は控えておりますが、事業所内研修はできる限り定期的に行っております。	新型コロナ終息の際は、外部研修にも積極的に参加し、今後も、研修の機会を多くもち、職員の資質向上を図ってまいります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		個別支援計画の作成前に、アセスメントを実施しています。 定期的な保護者様との面談により、利用児童の状況や課題を確認し支援計画に反映しています。	今後も、適切な手順での支援計画を作成してまいります。
	10	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		標準化されたアセスメントツールを使用し、保護者様のご意見・ご要望・児童の状況をもらすことなく聞き取れるよう努めています。	今後もアセスメントツールを活用し、保護者様のニーズや児童の状況などの状況把握に努め、より良い支援の提供に繋げます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		支援計画をもとにチームで立案・役割分担し、協力して支援を行っています。 その立案に対しては、日々話し合いをもち、改善・より良い支援提供に努めています。	今後もよりよい支援の提供ができるよう、チームでの立案に努めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		季節を取り入れた制作や行事を行ったり、個別療育以外の小集団療育等、利用児童の状況に合わせた日々の内容・支援を行ったりしています。 また、COMPASS 他事業所との情報共有や専門職の手法等、多彩な趣向を凝らした支援を行っています。	今後も活動が固定化しないよう、一人ひとりの状況に応じた支援に努め、その内容が利用児童に反映され保護者様に伝わるように配慮してまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		個別支援計画を基に、その時々の児童それぞれ の状況を把握し、適切な療育時間・内容を設定しながら支援に努めています。 また、平日と長期休暇の情緒の変化も捉え、適した課題を提供しています。	今後も個々の状況・平日休日利用の違いに合わせた課題を設定し、丁寧な支援を心がけてまいります。
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8		個々の発達段階に合わせた計画に応じ、その都度個別活動と集団活動を組み合わせて対応しています。 PDCA サイクルに基づき、確認も怠らないようにしています。	今後も同様に、適切な支援計画を作成してまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎日その日の職員全体での打ち合わせを行い、職員配置や環境設定を行っています。 その日の担当児童のみならず、利用児童全員に対して共通理解と支援にあたることができるよう情報提供に努めています。	今後も、支援するにあたり重要な時間と位置付け、時間を惜しまず、情報共有と理解の一致に努めてまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		毎日その日の職員全体での打ち合わせを行い、職員配置や環境設定を行っています。 その日の担当児童のみならず、利用児童全員に対して共通理解と支援にあたることができるよう情報提供に努めています。	今後も、支援するにあたり重要な時間と位置付け、時間を惜しまず、情報共有と理解の一致に努めてまいります。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		日々の療育内容・体調・生活状況の変化等の気づいた点も記録し、職員間・保護者様に報告しています。 また、保護者様との連絡帳や口答連絡により、当日の利用児童の関する情報をいただくことで検証・改善につながっています。	今後も適切かつ細やかな経過記録を行い、検証･改善に繋げられるよう努めてまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		定期的なモニタリング・面談の実施にて、保護者様からのご要望を取り入れながら児童の状況の把握・見直しを行っています。	今後も、事業所内での個別支援会議にて利用児童の状況を明確に保護者様に伝え、モニタリングと計画の直しがより良く行えるよう努めてまいります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8		利用児童の課題・保護者様のご意向を基にガイドラインの示す活動を組み合わせて支援計画を練り、支援を行うよう努めています。	今後も改善をしながらよりよい支援を行ってまいります。
関係機関や保護者様との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画し、会議の内容については職員全体で共有しております。	今後も同様に児童発達支援管理責任者が参画することに加えて、状況に応じて児童の支援に関わった理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士などの専門職も参画してまいります。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8		関係機関とは、送迎時や電話・メール等で連絡を取り合い情報共有に努め、時間の変更等急な対応に関しても教頭先生や担当窓口の先生等との連絡調整を行うよう心がけ、トラブル防止に努めています。	今後も関係機関との良好な関係と連携を心がけ、情報共有をしっかりと行い、トラブル防止に努めたいと思います。
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている		8	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		コロナ禍で電話での対応も多いですが、必要時、児童の利用関係機関との情報共有の場を設け相互理解を深めています。	今後も、関係機関と連携し、支援計画内容の情報共有・相互理解を図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		8	現在、障害福祉サービスに移行する児童はおりません。	今後、該当する児童が通所の場合には、適切に 対応するべく準備をしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		8	新型コロナの感染予防の観点から外部での研修等への参加は控えさせていただいています。	参加は、感染予防をふまえて今後の課題とします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある		8	新型コロナの感染予防の観点から外部での参加は控えさせていただいています。	感染予防・個人のニーズ・保護者様のご意向を 確認・検討し、個人情報をふまえて今後の課題 とします。
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども･子育て会議等へ積極的に参加している		8	新型コロナの感染予防の観点から外部での参加は控えさせていただいています。	参加は、感染予防をふまえて今後の課題とします。
	28	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		通所・送迎時に保護者様からの相談をいただくことがたくさんあり、園や自宅での様子をお伺いし助言を行っています。 また、こちらからも気づいた点をお伝えすることで状況や課題に気づき共通理解につながって います。	今後も、保護者様との普段からの何気ない会話や児童の状況についての話し合いを多くもち、気軽に相談していただける信頼関係を大切にしてまいります。
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っている	8		相談をいただく中で、必要に応じた時間・面談を設け、状況に応じた助言を行っています。	今後も、気軽に相談していただける信頼関係を大切にし、困りごとに気づける対応力を職員全体で身につけてまいります。
保護者様への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		ご契約時に丁寧な読み合わせを行い、解りやすく説明を行うよう努めています。	今後も丁寧な説明に努め、理解されたかの再度の確認も改めて行ってまいります。
	31	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		連絡帳・送迎時・電話対応等の保護様とのコミュニケーションツールを最大限に活用するとともに、こちらからの困りごとへの気づきによるお声かけ・助言を行っています。 また、希望により個別で家庭や事業所内での相談時間を設け、必要な支援と助言を行っています。	今後も同様に細やかな対応と配慮を心がけて支援してまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している		8	新型コロナの感染予防の観点から外部での参加は控えさせていただいています。	保護者会等の開催につきましては、感染予防の観点から控えさせていただきますが、当面の間は定期的なお便り等での共通理解や開催への準備をしていきたいと思います。
	33	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		保護者様からの申し入れや相談に対しては、職員全体に周知し、状況説明と可能な範囲での対応を迅速かつ適切に対応しております。	今後も、助言や迅速な対応を心がけ、声を掛けやすく相談のしやすい事業所を目指します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	8		季節ごとに会報の発行をおこない、COMPASS 公式ブログにて活動内容や利用児の成長に関する報告をさせていただいています。	今後は、毎月のお便りでの活動報告や行事予定のお知らせ・公式 Web サイトへの新着案内等、より充実させながら継続的に行ってまいります。
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	8		個人情報記載の書類については、鍵付き書庫や管理の生き届く環境で保管し、情報流出がないよう取り扱いは慎重に行っています。 掲載等個人情報に係ることに関しては、その都度事前の確認をさせていただき保護者様に同意を得ています。	引き続き個人情報は慎重に取り扱い、厳重な保管を徹底します。 職員全体での情報管理に対する認識もより高めていきたいと思います。
	36	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		それぞれの特性に応じて、口頭だけでなく書面や提示物等のできうる限りの手段を活用して情報伝達に配慮しています。	今後も、一つの方法にこだわらず改善を重ね、意思疎通・情報伝達の手段がよりよく増えていくよう配慮してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8	新型コロナ等の感染予防・個人情報保護の観点から地域交流は控えさせていただいております。	今後も、利用児童の安全を第一に考えて対応させていただきます。 保護者様のご意向によりましては、可能な範囲での取り組みを検討していきたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		各種マニュアルにつきましては、保護者様にも確認していただきやすいように事業所の玄関に掲示し、周知しています。 また、発生想定訓練は定期的に行い、訓練結果に対しての改善も職員で話し合い、突然の発生に備えています。	今後も、職員による周知と訓練に努めるとともに、全体での定期的なマニュアルの再認識も実施してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		定期的に火災・地震・風水害・不審者対応訓練を行い、訓練後の職員間での共通理解・改善に努めています。	今後も定期的に想定を変えた避難訓練を行い、突発時の職員の対応力をつけ、非常災害の発生に備えてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		コロナ禍の為、外部研修は控えています。 事業所内にて定期的にマニュアルに沿った職員研修を行い、適切な対応が保たれるよう日々努めています。	今後も、職員同士の話し合い・対応の仕方等の研修機会を増やし、継続して虐待防止に努めてまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8		契約書類に身体拘束についての記載があり、生命・身体保護のためにのみやむを得ず行う場合は保護者様の同意を得るようにしています。	身体拘束の必要性については随時検討を重ね、十分な協議・了承をいただいたうえで支援計画に記載するようにいたします。 また、その場合もできる限り早期に改善・解決できるように支援し、保護者様に丁寧な説明報告をいたします。
	42	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている		8	現在、対象となる利用児童がいないため行っていませんが、アレルギーのある子どもについては、保護者様よりアレルギー調査票にて確認を行い、アレルギー児童一覧を作成し、職員全体で把握して対応を行います。	今後、対象児童が通所した場合は、それぞれのマニュアルを作成し、慎重な対応を行ってまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		ヒヤリハットは、些細なことでも記すことで気づきと改善につながる大切なものと位置付け、誰もが利用児童の安全のために事例集を作成しやすいように周知・作成しています。 作成された事例は、定期的に会議等で取り上げ話し合う機会を作り、危険予防に努めています。	今後も、危険回避・危険予防の事例として、継続して記録を重ね、事故防止に努めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。